

第1分科会【表現技法】

PBL(課題解決学習) から将来の学びを見通す入試とは？

報告者▶ 江藤 由布 (香里ヌヴェール学院学院長補佐)

報告者▶ 倉本 龍 (立命館守山中学校・高等学校教諭)

コーディネーター▶ 筒井 洋一 (元京都精華大学人文学部教授)

今後の教育においては、未来に向けた課題を自ら見つけ出す力や実践が求められる。既に高校教育において探究学習に取り組んでいる2人の報告者が一例を紹介しながら、最終的には参加者自身がどのような入試・教育を実施したいのかをグループワークで話し合う。

概 略

本分科会では、まもなくやって来る新しい大学入試に向けて、大学個別の対応は遅れているが、指導要領に基づいた入試改革へと進もうとしている。高大接続の中で生徒や学生が歩んでいく中で、高校教員側からの入試や教育の提案が必要である。

第1報告者の江藤氏は、英語教師であっても、狭い意味での英語の授業はせず、自ら問題を発見・解決する能力を身に付けるPBL(プロジェクト解決授業)を実践している。その中で、実際に入試にこうした考えを導入している高校として、かえつ有明高校や香里ヌヴェール学院の事例を出しながら、入試を学校で孤立した行事ではなく、教育の一環として学校全体で取り組むことの大切さを述べた。

第2報告者の倉本氏は、PBLに基づく高校の授業や大学入試について、ワーク形式でグループワークを進めて行った。

全体討論の内容

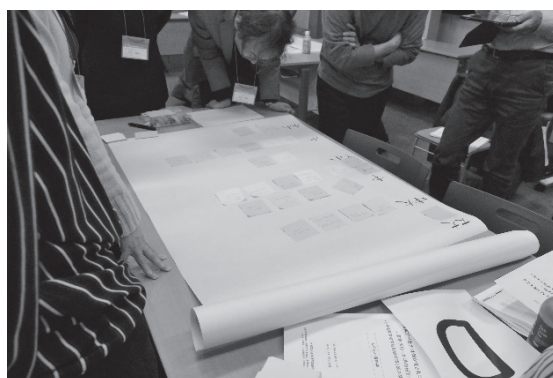
第2報告者の倉本氏は、2025年を想定した入試問題の骨子を決めるグループワークをおこなった。入試の専門家ではない参加者にとってはハードルの高いワークであるが、獲得したい学生をクジで選び、それに基づいて、アドミッション・ポリシーや入試方法を決めていった。短時間であったが、全グループ共に、この課題について解決策を提示した。このワークを体験してみて明らかだったのは、既存の大学では、具体的な入試対象の学生を想定せず、より多くの学生を獲得する視野しかなかったことである。大学にとって必要な人材を明確にして、その人材確保のために、どのようなアドミッション・ポリシーや入試方法を決めていけば良いのかがわかる。こうしたワークは、既存大学の入試関係者にとどまらず、大学構成員にとって必要なことである。

到達点と今後の課題

コーディネーターとしては、高校教員の中でも突出した体験と視野を持っている2名の方に報告をお願いした。報告者のトークは、既存の高校教育や入試における主張を述べただけでなく、自身の授業や入試に関わった視点から語られたことなので非常に説得力があった。

参加者のグループワークは、職種を混在させたメンバーであったが、短時間で発表が可能なレベルまで仕上げていたことは参加者の能力が非常に高いことが言えた。

ただ、専門家でない参加者が入試問題を創るというワークをもっと前面に出す必要は痛感した。



スライド 1

表現技法分科会

PBL(課題解決学習)から 将来の学びを見通す入試とは？

コーディネーター: 筒井洋一(元京都精華大学教授)
報告者: 江藤由布(香里ヌヴェール学院学院長補佐)
倉本龍(立命館守山高校教諭)

スライド 2

コーディネーター 自己紹介

筒井洋一
63歳

神戸大学大学院法学研究科修了。
富山大学、京都精華大学教授を経て、
60歳を期に早期退職

現在、京都工芸繊維大学、大谷大学非常勤
講師やZoomのコンサルタント



スライド 3

大谷大学、
京都工芸繊維大学
いつでも授業公開

5年間のべ1,100名以上の
見学者



スライド 4

本分科会の特徴

1. 新しい教育手法や分野を切り開く
テーマを取り上げる
2. 発表中心ではなく、参加者の
グループワーク主体

スライド 5

過去のテーマ

- ・主体的に「問い」を見出し深い学びを目指す授業
- ・「学校×ICT×社会」でシナジーを起こす学習デザイン
- ・アクティブ・ラーニングの評価方法
- ・授業リフレクションとしてのラベルワークの実践
- ・学び合いの手法を使って、シンポジウムの議論を深める
- ・高大連携授業「自己を表現することで強みを伸ばす」
- ・対話や表現をデザインするカリキュラム

スライド 6

1. 新しい教育手法や分野を切り開く
テーマを取り上げる

高校教育と大学教育がつながることが
生徒・学生にとって必要

しかし、現状
高校 大学入試がゴール
大学 高校教育も入試も無関係

スライド 7

教育改革としての大学入試

スライド 8

2. 発表中心ではなく、 グループワーク主体



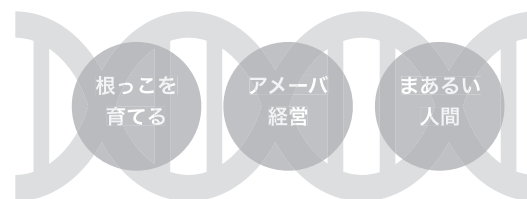
スライド 1

あの子をどうやって測るのか “測り方を変える”ことへのチャレンジと課題

2018年12月8日
第一分科会・表現技法
江藤由布
香里ヌヴェール学院 学院長補佐

スライド 2

人生の経営者を育てる



香里ヌヴェール学院

(一社)オーガニック
ラーニング

大黒柱で妻

Apple
Distinguished
Educator

I am a mother first.

スライド 3



Project Based Learning

スライド 4



スライド 5

授業者としての心がけ

- ①クラス内で点数で並べて比較したり、点数の高い低いに関して一切言及しない
- ②Cを大切に: Creation, Content, Collaboration, Commitment, Challenge...
- ③膨大な必要無駄のほんの一角しかペーパーテストは測れないことを伝え続ける
- ④英語に固執せず、ファシリテーションや問題解決型授業など思考の底辺を鍛える
- ⑤アウトプット重視: トーク、長文作文、ブログ、動画など
- ⑥常に生徒の意見を聞きながら進めるが、基本的に自分がおもしろいと思うことをやる

スライド 6

一例：逆コーセラ

- チーム or 一人で学びたいことを決める
- アウトプットの方法を決める（動画）
- Courseraなどでコースを見つける
- 学びの計画を立てる
- 学んで来たことを集合知化し、動画にする
- 動画を集約し、評価する



スライド 7

Project Based Learning Is...



知識や暗記といった受け身の学習から脱却し、自ら問題を発見・解決していく能力を身に付けることを目的とする学習

スライド 8

想像と創造
圧倒的ジブンゴト
新たな自分との出会い



スライド 9

PBLに必須の要素：

- ・ 探究心を大切に
- ・ 鍵となる知識とスキルが身につく
- ・ 理解し応用する
- ・ 一連の授業の中にPBLぽくないのも組み込む
- ・ 良質なアセスメント

Project Based Learning

スライド 10

アセスメント

選択式 vs パフォーマンスアセスメント

↓↓↓

Do you know it? →

**Can you use it?
Show me how you
can apply it.**

スライド 11

自然な考え方へ原点回帰

First Challenge, then instruction.へ

↓
つまり

**解決しなければならないことに対して
必要になる知識やスキルを導き出す
I need to know... to be able to ...**

スライド 12

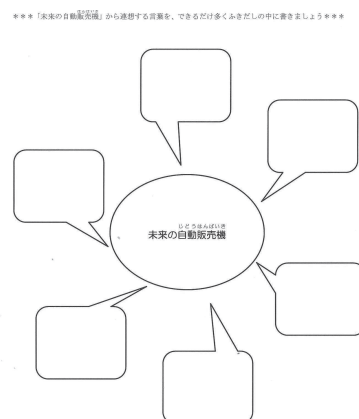
かえつ有明中学校 アクティブラーニング型入試

- ・ シューマイゲーム
 - ・ 「桃太郎」
 - ・ 当たり前を問い直す
 - ・ リフレクション
- 「当たり前」
を疑う

スライド 13

香里ヌヴェール学院中学校
思考力入試

スライド 14



スライド 15

香里ヌヴェール学院小学校
英語入試

スライド 16

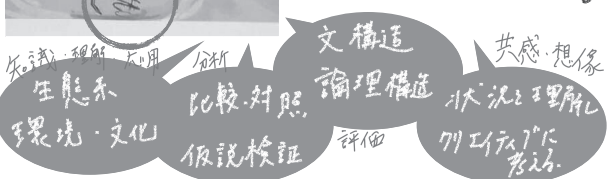


スライド 17

卒業時



SSC:
What will happen next?
SEC:
Why do you think the bird
has barbed wire on its leg?



スライド 18

入試の「当たり前」を問い直す
その入試、何のため？

スライド 1

入試問題の最適解をデザインしてみる

2018年12月8日
第1分科会・表現技法
倉本 龍
立命館守山高等学校 教諭

スライド 2

倉本 龍(りょう)
立命館守山中学校・高等学校
理科(主に物理と探究)
メディア教育・司書教諭
1人1台iPad環境



スライド 3

**ELEVATOR
PITCH**



スライド 4

elevator:
商談の場所
pitch:
短い間隔のミーティング

整理し、
ムダなく、
コンパクトに



スライド 5



Q. 私がこのワークをした意図は？

スライド 6

先に結論。

1. 出題者の意図を探る対話
2. 名刺代わりの問題とその解答
3. Context Based で自分ごとに
4. 「The STANDARD」「Custom」

スライド 7



スライド 8

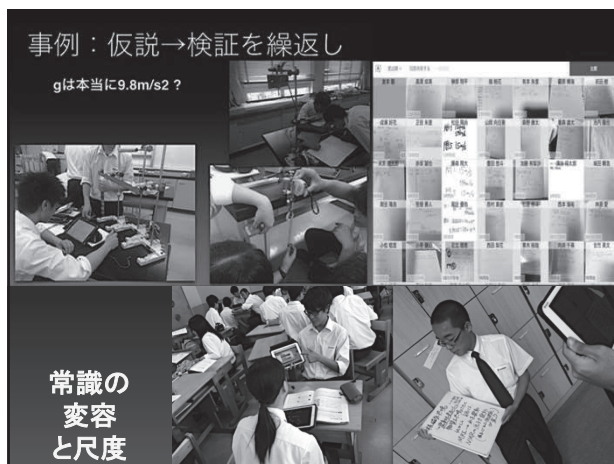
私自身が受験した大学入試問題

Q1
「気体の乾燥剤」について説明しなさい。

Q2
化学平衡の原理を証明しなさい。

Q3
有機化合物4種の分離実験を設計しなさい。

スライド 9

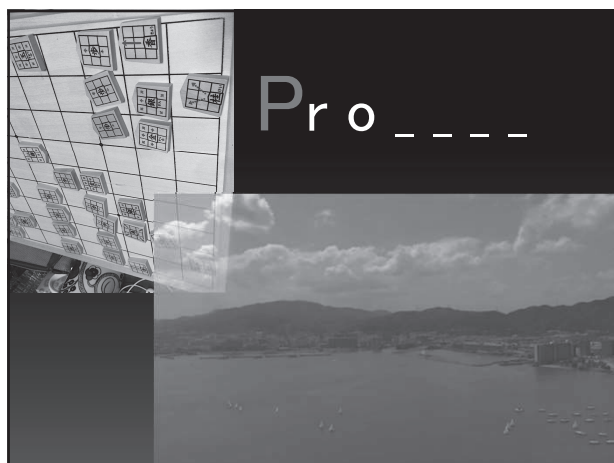


スライド 10

PBL

P_____ Based Learning

スライド 11

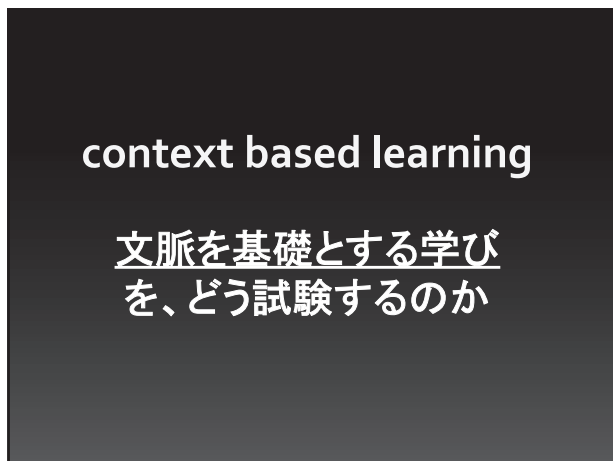


スライド 12

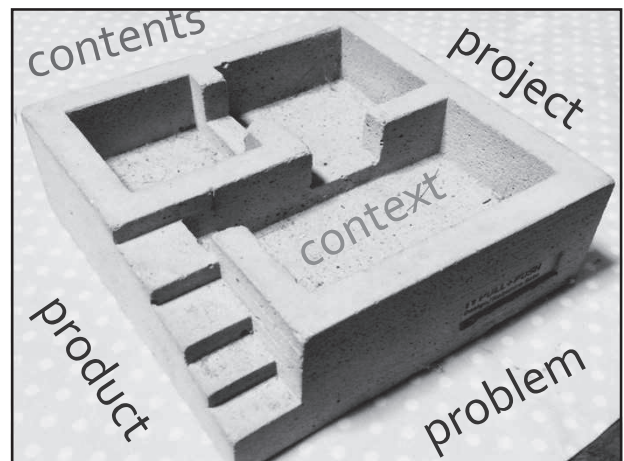
持続可能な開発目標 (SDGs)



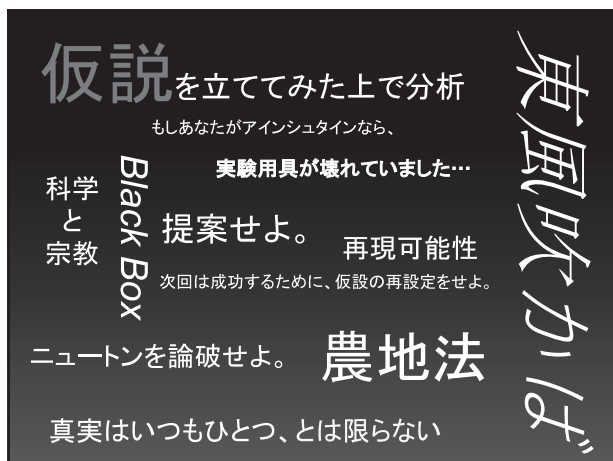
スライド 13



スライド 14



スライド 15



スライド 16



スライド 17

アインシュタインに関する問題を思考コードで

3 変換	光量子仮説からみる粒子の性質は何か。	なぜ光電効果でノーベル賞を獲り、 $E=mc^2$ で獲れなかったか。	もしあなたが政治や社会に影響のあるほどの発見をしたら、どう貢献するか？
2 複雑	グラフからNaの仕事関数を求めよ。	光量子仮説が当時の科学者にどのような影響を与えたか説明せよ。	もしあなたが広島・長崎に原爆投下を防げるなら、どのタイミングか？
1 単純	光量子仮説とは何か。	光量子仮説を用いて、光電効果の問題点の解決方法を説明せよ。	もしあなたがアインシュタインならば、周りの科学者にどう振る舞うか？
	A	B	C
	知識・理解	論理的思考	創造的思考

スライド 18

